

グローバル経済と 日本の超低金利政策の行方

BNPパリバ証券チーフエコノミスト

河野の
龍太郎

- * 国債バブルとデフレ均衡の日本
- * 低金利政策のメリットとデメリット
- * 危機は先送りされている
- * デフレ均衡が崩壊する経路
- * 超円安とインフレのスパイラル
- * トリガーは日本国債の格下げ
- * 次の世界的な不況局面では円高に
- * コロナバブルが弾けたのか
- * アメリカの金利引き上げは続かない
- * 財政危機をいかに回避するか



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

本日は、BNPパリバ証券の河野龍太郎さん
においていただきました。定期的にお呼びして
おりますので改めてご紹介の必要もないかもし
れませんが、1964年生まれで横浜国大をご卒
業後、住友銀行を経て現在のパリバにお勤めで
ございます。日本を代表するエコノミストとい
うことで、定期的に経済の状況、経済政策の見
通し等についてお話を伺っているわけございま
す。世の中、今コロナに代わってウクライナ
でもち切りでございますが、肝心の日本の経済
政策、あるいは金融政策、こういったことにつ
いて、やはりわれわれはきちんとウォッチしな
ければいけないので、今日はその辺について本
質的なお話をじっくりしていただけるといいこ

とでございますので、最後までお聞きいただき
たいと思います。

それでは河野さん、よろしく願いましたし
ます。（拍手）

国債バブルとデフレ均衡の日本

河野 皆さんこんにちは、BNPパリバ証券
チーフエコノミストの河野龍太郎です。年に1
回お時間をいただいて、こちらでお話をさせて
いただいています。今もお話がありましたけれ
ども、何となくウクライナの話とコロナの話ば
かりになっているので、今日は日本の話を少し
いたしたいと思います。

といいますのが、欧米はもう完全にコロナは
終わっています。もちろん次なる感染があるか